

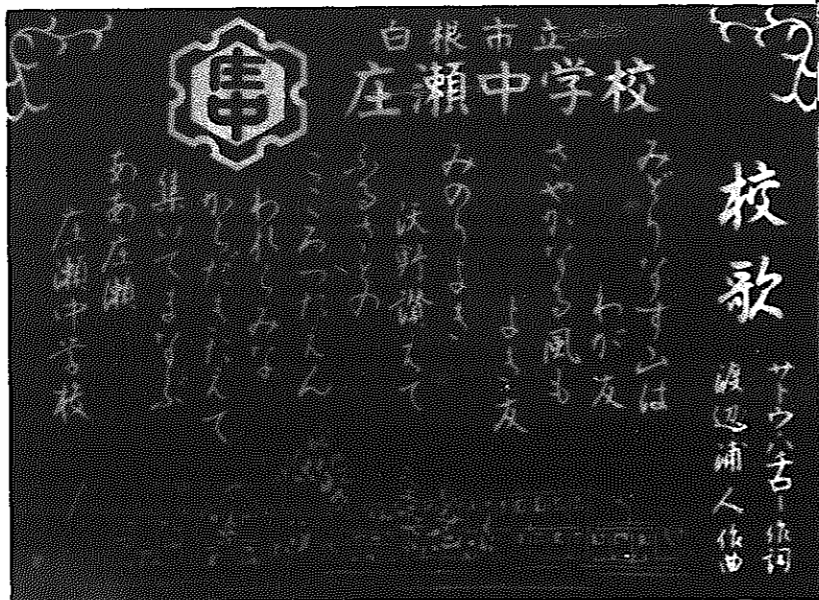
坂井 一磨 校長

人間性豊かな生徒に育てたい

純農村地帯という環境のせいか、純朴な生徒が多いようです。ただ、積極性に欠けるくらいがありますね。そのため、『自主・創造』を教育目標におき、真剣に学習に取り組み、活動にめあてをもって実現に努力する生徒を育てようと、先生

方が一丸となって取り組んでいます。JRC活動は、他校にはない特色ある生徒の自主活動です。生徒会活動面、大いにプラスになっているようです。リーダーだけでなく一人ひとりがもって自覚して、がんばってほしいものです。心の面を大切に、人間性豊かな生徒、がんばりぬく生徒に育てていきたいと思っています。

学校めぐり



校歌

サトウハチロー 渡辺 補人 作曲

学校自慢

サトウハチロー 作詩のわが校歌

当時三年生だった近藤行雄さん(菱湯)が、上越線の車中で親しくなった紳士との会話の中で、学校に校歌のない寂しさを話したところ、知人のサトウハチローに頼んで校歌を作ってもらったと約束。この紳士の善意でその後まもなく作詩、作曲ができあがり、創立十周年にして校歌が誕生したということです。二十五年前のできごとです。



「あったわ」と、登山道のわきに落ちていた空き缶を拾いながら登る

五頭清掃登山でさわやかな汗

自然の家に戻り、持ち帰ったゴミを集める「お疲れさま」



鳥帽子岩付近を元気に登る



山頂は大変な混雑ぶりでした



庄瀬中学校(生徒数百十五人)では、九月二十九・三十日、五頭連峰少年自然の家で、青少年赤十字(JRC)のトレーニングセンターと呼ばれている合宿を行い、五頭山のゴミ拾い登山を行いました。JRC活動を生徒会活動に取り入れている学校は、市内では庄瀬中学校だけで、二十年もの活動の歴史をもっています。

このJRC活動とは、健康と安全、奉仕、国際理解と親善を實踐目標に、望ましい人格と精神を自らつくり上げることを目的として、結核予防のための古切手収集、堤防の清掃奉仕、一日一善運動、共同募金などを行っています。

合宿二日目の午前九時、ゴミ袋を手に登山を開始。山道に落ちていた空き缶やゴミを拾いながら、頂上めざして、もくもくと登っていきます。この日は、同校のほか、五か校が登山していることもあって、山頂では身動きのできないほどの混雑ぶり。

午後三時三十分、同自然の家に戻り、持ち帰ったゴミを集めると、ちよつとした小山に……。山道の案内板もいたるところでこわされ、登山マナーの悪さを目の当たりにした生徒からは、「自然をもっと大切にしたいですね。道標をこわすようなことは絶対やめて」と訴える声が聞かれました。

インタビュー

JRC委員長をやっています。楽しい活動だと思うよ。いい体験もできるしね。

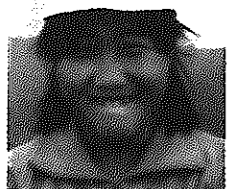
合宿一日目のオリエンテーリングは優勝したんですよ。おもしろいね。またやってみたい。

卒業しても、ボランティア活動は続けたいな。だってやり終えたあと、とてもさわやかな気持ちになれるんですよ。

今年できたばかりの合唱部に所属して、がんばっているんですよ。護摩堂山がこれまで登った最高の山。五頭山はきつかったなあ。五頭連峰少年自然の家での昨夜は、十二時過ぎまで語り合ったんですよ。合宿はJRC活動の中でも、特に楽しい行事ですね。

疲れちゃった。けど、楽しいね。年に一回はこういう登山があってもいいね。

ボランティア活動は、人や地域のためはもちろん、自分のためにもなるから続けていきたいな。



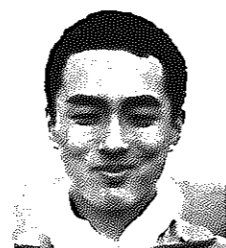
白井富士美さん 2年生



諏訪間美夫くん 3年生



眞保加寿子さん 3年生



樋口 靖憲くん 3年生

